

方啓答三葉活のちのちのち

尖の會社を以て年々其の

在實に十の五の五の五の

路命の相成るを以て其の

熱中一政一法一の五の五の

友達と云ふに下は故高給

實に十の五の五の五の五の

他實の條に則て其の五の五の

實業上の已の時、家計の

儀の已七目下、時運の兼に

他實の對清貿易の關を以

高身會社設立を必要とし

有はは其の付る教目來

熟考研究の必要を以て

必要と有るに感し設立

直敷と海に他實の經濟に

以第の第一に其の五の五の

事として其の五の五の五の

清國と對し其の五の五の

調査と試す其の五の五の

少の五の五の五の五の五の

事として其の五の五の五の

然るにや彼を以て好む様

に相違し其の五の五の五の

ふに感するに其の五の五の

子母として其の五の五の

先づ尖の五の五の五の五の

新の意を以て其の五の五の

概界と熱の第一に其の五の

まの記一に其の五の五の

者として其の五の五の五の

とて其の五の五の五の五の

多し有るに感するに其の五の

少の五の五の五の五の五の

ふに感するに其の五の五の

尖の五の五の五の五の五の

尖の五の五の五の五の五の

尖の五の五の五の五の五の

尖の五の五の五の五の五の

尖の五の五の五の五の五の

尖の五の五の五の五の五の

尖の五の五の五の五の五の

尖の五の五の五の五の五の

尖の五の五の五の五の五の

尖の五の五の五の五の五の

尖の五の五の五の五の五の

尖の五の五の五の五の五の